

## ■原告・支援者 みんなの声

### ◇私が親子裁判の原告になろうと思った理由

K.Y. (福島県)

原発事故からずっと後悔していた事がありました。怖さも影響も知っていた自分がいたのに、どうしてあの時出来なかったのだろうと思う事が多くあるからです。子供は親の考えや価値観で未来が分かれています。その大切な未来に取り返しのできない事をしてしまったのではないだろうか？どれくらい守れただろうか？全てを捨て子供を遠くに行かせるべきだったのではないだろうか。毎日、自問自答していました。そんな時にこの裁判のことを知りました。黙っているとそれでいいと行政は思います。いや違う、そんな事はないのだと意思表示したいと思いました。どうしてこんな目にあい、苦しい想いをしなければいけないのか。子供に多くの不要な不安を抱かせなくてはいけないのか。思えば思うほど怒りが湧きます。そんな気持ちの人はたくさんいると思います。この裁判によってその想いが届くようにと願って止みません。

### ◇原告の思い

E.F. (埼玉県)

原発事故から4年半。私達の生活は一転してしまいました。外からは子ども達の元気な声が聞こえなくなりました。もちろん我が家の娘も大好きな外遊びを奪われ、夏でも長袖長ズボン、マスクに帽子着用。登下校は車、食材は福島県産以外。ありえない事態です。娘は運動不足とストレスから太りはじめました。このままではいけないと考えた結果、郷里を離れる決心をしました。

県外に避難しても、娘の体は少しずつ変化していきました。事故後のエコーや血液検査でのう胞や異常値を示すという事態になりました。気を付けて生活をしていたのにも関わらずこの結果です。事故当時、国は何の根拠も示さず、健康に直ちに影響はないとか、年間の線量を20ミリシーベルトに変更する等、一体何を考えているのか、子を持つ母としては、非常に許し難いことです。

私達は県外に自主避難しましたが、生活は苦しいし、娘の健康への不安は消えません。国には福島県民の気持ちに寄り添い、今後を一緒に考えていくべきではないかと感じています。

### ◇北海道旭川からも支援しています

大江優香 (チーム今だから 北海道旭川市)

福島原発事故を映し出すTVを見ていて「なんだか怖い事が起きた」と心の中で充満していました。

本当に怖いと感じたのは、旭川で柳原弁護士のお話を聞いて、福島の子どもたちが置かれている現状を知ってからでした。

福島のお母さん、お父さん、子どもたちが立ち上がり原告になった「子ども脱被ばく裁判」を応援したいと思いました。

私も参加している市民団体「チーム今だから」の映画上映会や講演会でチラシの配布、カンパのお願い、署名活動をしています。

福島の子どもたち、そしてお母さん、お父さんの思いを考えると、いてもたってもいられなくなります。

どうして国の偉い人たちには届かないんだろうと思ってしまいます。

みなさんの声が届くまで、旭川から声を上げていきます。



### ◇子ども脱被ばく裁判・支える会ふくしま報告

酒井恭子

子ども脱被ばく裁判・支える会ふくしまは、その名の通り福島県在住の支援者の会です。原告の声に耳を傾け、思いに寄り添い、ともにこの裁判を闘っています。

子ども脱被ばく裁判の会は、原告と支援者が話し合いを重ね、動き始めました。はじめに「子ども脱被ばく裁判」について知ってもらうために、リーフレットを作りました。子ども脱被ばく裁判とはどんな裁判なのかという説明、原告のおかあさんたちの声、口頭弁論期日のお知らせ、カンパのお願い、子ども脱被ばく裁判・支える会西日本・弁護団それぞれのブログとママレボブックレットの紹介等です。

このリーフレットを講演会や集会、街頭で配布してくださる支援者のご尽力により、支援の輪は北海道から九州・沖縄まで全国各地に広がり、とても励まされます。寄せられたカンパによって、口頭弁論期日の原告・弁護団の交通費、集会等の運営費を賄うことができます。この紙面をお借りして、心よりお礼申し上げます。

## ◇東日本の会・発足まで

(文責:黒岩 康)

八月、鹿児島川内原発から戻った稲井さんが呟いた一言が「東日本の会」を立ち上げさせた。「黒岩さん、水戸さん・城さんは凄いよ！あの炎天下、ゲート前で一日中“子ども脱被ばく裁判”の署名をやっているんだぜ。頭が下がるよ。東京でも何かしないと！」。水戸さんが立ち上げた西日本の会一既に多くの会員を集めていることは知っていた。しかし、東京には、同じ裁判を支援する「ふくしま集団疎開裁判の会」がある。「疎開裁判の会」を知らない訳ではない。別組織を作ることは分派活動？躊躇はあった。だが、「疎開裁判の会」が「脱被ばく実現ネット」と改称、呼称から「ふくしま」を消した時、別組織を立ち上げて良いというシグナルを感知した。名義変更の理由は知らない。この時、西日本に做った運動体を作ることを決めた。放射能被ばくを心配しながら、諸事情で集会やデモに参加できない方々も視野に、会員を募り、福島現状と裁判を広報することを目的に。

## ◇子ども脱被ばく裁判おうえん@東京里芋報告

田島直樹 (#おうえん東京里芋)

かつての「集団疎開裁判」ではなく、今の「子ども脱被ばく裁判」を応援しています。

ものをいいにくい福島で、声を出しはじめた福島の原告の皆さん、がんばってください。かつての裁判(2審)では原告さんの姿が見えませんでした。今は多くの親子原告さんが声をあげています。

原告さんは名ばかりで弁護士さん任せ、あるいは支援者任せという裁判もあるそうですが、この裁判は決して、そんな不健全なものではありません。

「怖がっていい、泣いていい、怒っていい」、「いつか」ではなく裁判中の今こそ、原告さん同士で「笑いあえるように」なってください。安っぽい同情など、蹴っ飛ばしてください。

私たち#おうえん東京里芋は、福島の原告さんたちの、今の充実を応援するために、100%の直接送金カンパを呼びかけています。月1回の手紙「里芋通信」は、まもなく第2号を発行します。

## ◇母たちの苦悩を受け取る

後藤由美子 (子ども脱被ばく裁判を支える会・西日本)

突然の見えない放射線から子どもを守りたかった！広報を信じて被ばくさせたしまった母の苦悩。子ども、自分に現れた体調の激変で、必死に子どもを守ろうとしたが差別に遭い挫折。それぞれ陳述に込められた母の悲しみ、不安、怒りがどれほどのものかを想像します。

西では、火山が噴火し続ける中、川内原発が再稼働。子どもを守るとは土地を守ること。原発を止めること。決してあきらめない人々の努力で署名の協力要請記事も！原告の言葉に呼応し、共に歩む人はふえ続けています。

西日本では支える主体としてのつながりを強めるため「応援します会員」を募って学習会、お話し会等を行い、独自の通信も行っています。9月には関西で福島告訴団長・武藤類子さん、ドイツのプフルクバイル博士のお話を聞きました。西日本で入会ご希望の方はご連絡ください。

携帯090-3611-0162 支える会西日本事務局 後藤由美子

「子ども脱被ばく裁判」を支える会・西日本 <http://kodomodatu.jugem.jp/>



## ◇脱被ばく実現ネット

報告 宮口高枝(旧ふくしま集団疎開裁判)

私たちの会は、子ども脱被ばく裁判や被ばくの危険性について周知に務め、裁判や脱被ばくに関して広報することは私たちが取組める役割と考え、有楽町や渋谷ハチ公前等での活動や新宿デモなどを4回実施してきました。この間、9月23日「さよなら原発、さよなら戦争大集会」にはブース参加。被ばくに関連する写真展示やハート風船、脱被ばくチラシや子ども脱被ばく裁判関連のリーフレットの配布と裁判ブックレットを販売。裁判署名は関東に避難している原告さんを先頭に350筆集めた。原発再稼働反対と脱被ばく、被害者切捨てを許さないテーマを盛り込んだ企画は多くの注目を集めた。10月2日・日比谷野音「安倍政権 NO!大行進」チラシ2000枚配布。10月4日・第2回光塾「原発事故5年目！関東にも拡大する被害」開催。医師の岡山博先生を囲み活発な質疑で放射能被曝と健康に関し論議を深めた。

## ■ママレボブックレットお買い上げください

ママレボブックレット「子ども脱被ばく裁判」の弁護士が、ふくしまの親たちに送るメッセージは、子ども脱被ばく裁判の会弁護団長の井戸謙一弁護士により、子ども脱被ばく裁判がわかりやすく説明されています。なお、このブックレットの売り上げの一部は、ママレボ編集部のご好意により「子ども脱被ばく裁判の会」に寄付されることとなっています。この機会に、是非、ご購入の上、ご一読いただければ幸いです。



### ▲▽ ご注文冊数別の代金と送料 ▼▲

- ・ 1冊ご注文の場合 → 800円(代金)、250円(送料)
- ・ 2～5冊ご注文の場合 → 800円×冊数、360円(送料)
- ・ 6～9冊ご注文の場合 → 800円×冊数、510円(送料)
- ・ 10冊以上ご注文の場合 → 800円×冊数、送料無料

### ▲▽ お申込み・お問い合わせは下記事務局まで ▼▲

## 事務局からのお知らせ

### ① 署名、応援ハガキについて

福島地裁に、原告の思いに正面から向き合い、公正な審議・判決を行ってくださるよう、署名と応援はがきによる要請を行なっています。みなさまの応援を心よりお願い致します。なお、署名用紙や応援ハガキをご希望の方は、下記の事務局までご一報ください。

また、第2次集約日は、本年11月15日となっています。

### ② 今後の口頭弁論期日について

裁判は、福島地方裁判所(福島市)で開かれます。現時点で判明している裁判日程は、次の通りです。なお、一般傍聴の場合は、整理券が必要となることがありますので、予め、福島地方裁判所のWebなどでご確認ください。

- ・ 第3回口頭弁論期日 2015年12月1日(火曜日) 15:00～
- ・ 第4回口頭弁論期日 2016年2月25日(木曜日) 予定
- ・ 第5回口頭弁論期日 2016年5月26日(木曜日) 予定

福島地方裁判所：福島市花園町5-38 電話番号 024-534-2156

### ③ 寄付、カンパのご協力のお願い

子ども脱被ばく裁判の会では、みなさんから寄せられたカンパ・支援金は、裁判に掛かる経費(裁判費用など)、原告や弁護団の旅費交通費や会報の印刷など裁判活動に伴う経費として活用させていただいています。また、会計報告についても、約3ヶ月毎に、会報に会計報告を掲載しています。

子ども脱被ばく裁判へのカンパは、下記のゆうちょ口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行 記号番号：02230-6-138810

名義：子ども脱被ばく裁判の会

### ④ 事務局へのお問い合わせ

子ども脱被ばく裁判の会・事務局の連絡先は次の通りです。なお、子ども脱被ばく裁判の会のリーフレットや会報「道しるべ」をご希望の方、子ども脱被ばく裁判および子ども脱被ばく裁判の会へのご意見、ご要望なども下記連絡先までお願いします。

事務局長：武本 泰

事務局メールアドレス kodomo2015-info@oregano.ocn.ne.jp

事務局電話番号 080-5220-4979

事務局住所 〒963-8018 福島県郡山市桃見台8番地24号レールシティ桃見台702号

※ ご注意 本文書の無断での転用、転載は硬くお断り申し上げます。

### 会計報告書(第2期)

収入の部			支出の部		
勘定科目	第2期(円)	累積(円)	勘定科目	第2期(円)	累積(円)
寄付収入	1,342,473	2,353,753	人件費	30,000	55,000
補助金収入	0	480,000	旅費交通費	341,060	803,840
物販収入	139,710	214,350	通信運搬費	144,449	185,967
雑収入	610	618	印刷費	251,070	300,443
			書籍費	106,960	166,320
			会議費	64,720	117,600
			備品費	10,584	13,844
			雑費	6,015	13,672
			消耗品費	33,377	61,050
<b>小計</b>	<b>1,482,793</b>	<b>3,047,721</b>	<b>小計</b>	<b>987,235</b>	<b>1,717,736</b>
<b>差引残高</b>					<b>1,329,985</b>

# 12人の絵本作家による

子ども脱被ばく裁判を支える会

# 応援カレンダーができました！



カレンダーに参加して下さる12人の絵本作家

- 1月 降矢 なな 「あいつともだち」 偕成社
- 2月 おーなり 由子 「ことばのかたち」 講談社
- 3月 ふしはら のじこ 「ふたごのゴリラ」 福音館書店
- 4月 市居 みか 「ろうそくいっほん」 小峰書店
- 5月 はた こうしろう 「なつのいちにち」 偕成社
- 6月 スズキ コージ 「ヤッホーホイホー」 講談社
- 7月 青山 友美 「ねこはなんでもしている」 こどもプレス
- 8月 長谷川 義史 「へいわってすてきだね」 ブロンズ新社
- 9月 山本 孝 「しんかいたんけんマリンスノー」 小峰書店
- 10月 吉田 尚令 「希望の牧場」 岩崎書店
- 11月 山福 朱実 「ヤマネコモ布」 復利ドットコム
- 12月 あおき ひろえ 「からあげ」 アリス館

※左の作品は作家のみなさんが描かれた絵本です。実際のカレンダーとは異なります。

核なき子どもの未来を願って、日本を代表する人気絵本作家12人が来年2016年のカレンダーを作ってくださいました。この豪華な顔ぶれをご覧ください！クリスマスプレゼントにもぜひどうぞ！

また、収益は「子ども脱被ばく裁判の会」にご寄付いただけることになりました。寄付金は、裁判費用・調査費・原告さんらの交通費・印刷代等に使用させていただきます。

こころよりご購入をお願いいたします。

—共同代表 / 福島県 片岡輝美 大阪府 水戸喜世子—

## 子ども脱被ばく裁判

東京電力福島第一原子力発電所の事故の直後も、そして4年が経過した今も子どもたちの脱被ばく政策を行わない国と福島県。そんな国や福島県の責任を問うべく、避難者を含む約200人の福島の子が昨年今年と福島地方裁判所に提訴しました。これが「子ども脱被ばく裁判」です。

## 1部(カンパ) 1000円(送料別)

10部以上 お買い上げの場合は  
1部 900円に割引させていただきます。

**送料** 1~2部...250円 3~10部...360円  
11~15部...510円 16~30部...1000円  
31部以上...1500円

ご注文はいずれかの方法でお申し込みください

## 2016 カレンダープロジェクトチーム

- Mail / ehoncalendar2016@yahoo.co.jp
- Fax / 072-683-0404
- 郵便 / 〒569-0805 高槻市上田辺町 11-3-206

お申し込みをいただいた方にはカレンダーと一緒に振り込み用紙を同封いたします。

問い合わせ / 080-3841-5388 水戸

空色  
画房

子どもたちの  
明日のために

12人の絵本作家が描く  
**カレンダー原画展**

2015年 **12/3 ~ 26** (木金土のみオープン)  
 営業時間 / 12:00 ~ 19:00  
 空色画房 / 大阪市北区菅原町 1-5 (地下鉄南森町駅2番出口)  
 TEL 06-6365-6650

期間中は絵本とカレンダーの展示即売も行います。  
 また絵本作家さんによる楽しいイベントも企画しております。  
 詳細は「空色画房」HP でご確認ください。  
<http://www.eonet.ne.jp/~mousebbb/sorairo.html>

北浜駅26番出口から3分 南森町駅2番出口から7分